

少数台数のリコール届出の公表について（平成17年7月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成17年7月は下記のとおり5件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：ドゥカティジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸 入 期 間
7月 4日	外1240	車 名：ドゥカティ 型 式：ZDMM407AA4B 通称名：エンスタ-400	81	平成16年8月20日～ 平成16年10月7日
不具合の部位等	燃料供給を制御するインジェクションリレーおよび電源供給を制御するメインリレー内部端子の半田付けが不適切なため、当該リレーが誤作動することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、走行中の振動等により半田付け部分がはがれて通電されなくなり、当該リレーが作動せず、燃料ポンプおよび計器類に電源が供給されなくなり、突然原動機が停止し、再始動できなくなるおそれがある。			

2. 届出者：酒井重工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月 5日	1474	車 名：サカイ 型 式：MER6等 通称名：ER550F等	60	平成14年6月20日～ 平成17年5月23日
不具合の部位等	電気制御式前後進コントロールユニットにおいて、配線取出し部の防水構造が不適切なため、洗車等により当該取出し部からユニット内部に水が浸入し、可変抵抗部が錆びて腐食することがある。そのため、その状態で使用を続けると、導通不良を起こし、最悪の場合、後進操作時に前進してしまうおそれがある。			

3. 届出者：三菱ふそうトラック・バス株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製 作 期 間
7月 6日 (公表済み)	1475	車 名：三菱 型 式：KK-MM35HJ等 通称名：ふそうエアロスター	44	平成8年5月29日～ 平成12年4月23日
不具合の部位等	燃料タンクを横置き式から縦置き式に変更した車両において、燃料タンクを車体に固定する金具（タンクサポート、タンクサポートブラケット）の取付ボルトの強度が不足しているため、走行時の振動等により当該ボルトが折損するものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、当該金具が外れ、最悪の場合、燃料タンクが脱落するおそれがある。			
備 考	本届出は、平成12年8月22日付け「届出番号662」のリコール届出がされたものについて、一部の車両の改善措置内容が不十分であったため、改善措置内容を見直し、再度対策を行うものである。			

4．届出者：ルノー・ジャポン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月13日	1241	車名：ルノー 型式：GF-AF4J2 通称名：セニック	63	平成13年6月27日～ 平成13年7月16日
不具合の部位等	フロントスタビライザーを車体に固定するクランプのプレス加工が不適切なため、当該クランプの耐久性が不足しているものがある。そのため、走行等の振動により当該クランプに亀裂が生じて異音を発生し、最悪の場合、破損してスタビライザーが外れ、車体と干渉するとともに走行安定性が損なわれるおそれがある。			

5．届出者：株式会社タダノ

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
7月26日	1495	車名：タダノ 型式：SD-T001 通称名：CREVO350	2	平成16年7月7日～ 平成16年8月9日
不具合の部位等	動力伝達装置のトランスミッション入力軸の熱処理が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、最悪の場合、当該入力軸が折損して走行不能にいたるおそれがある。			

〔参考〕

平成17年7月のリコール届出総件数		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	23件	20件	3件
輸入車	7件	5件	2件
計	30件	25件	5件

対象台数の追加の届出については届出件数に含みません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課 リコール対策室 傳田 電話 03-5253-8111 (代表) (内線42352・42353)
